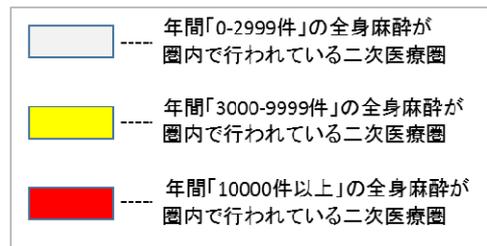
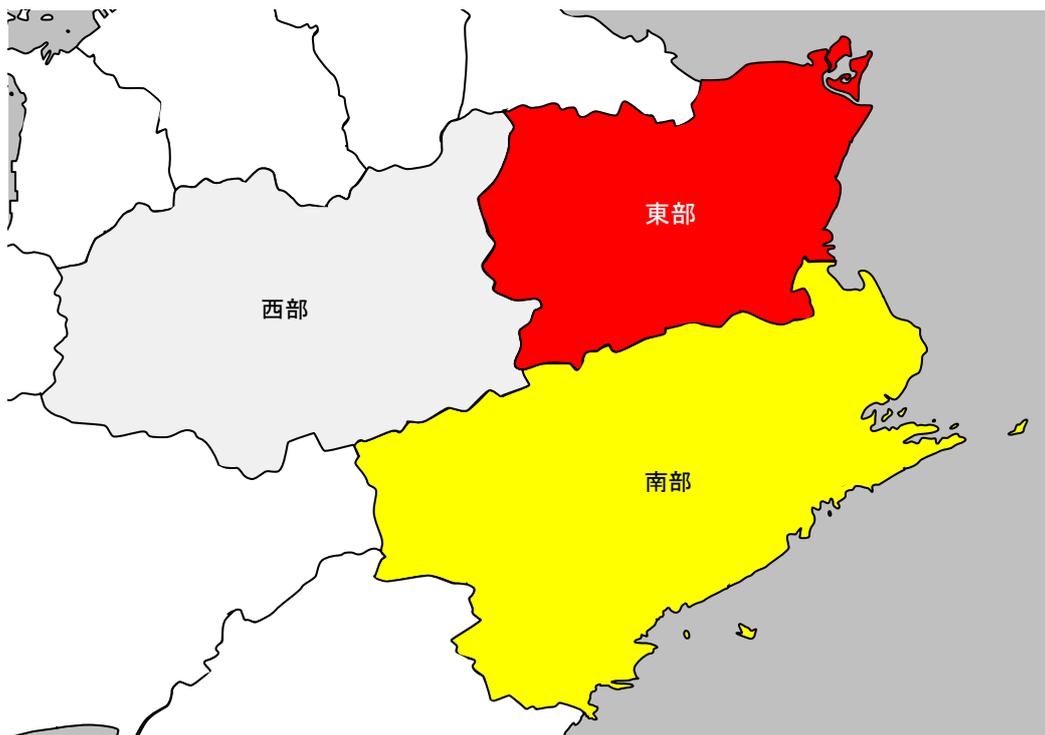


# 36. 徳島県



目次

徳島県 .....	36	-	3
1. 東部医療圏 .....	36	-	9
2. 南部医療圏 .....	36	-	15
3. 西部医療圏 .....	36	-	21

## 徳島県

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は76,694人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は365人(18%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は313人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

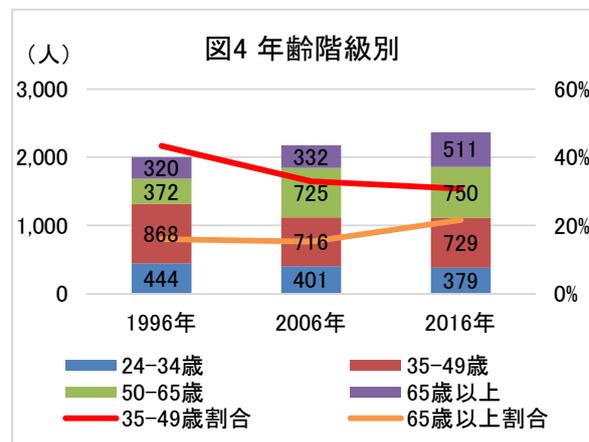
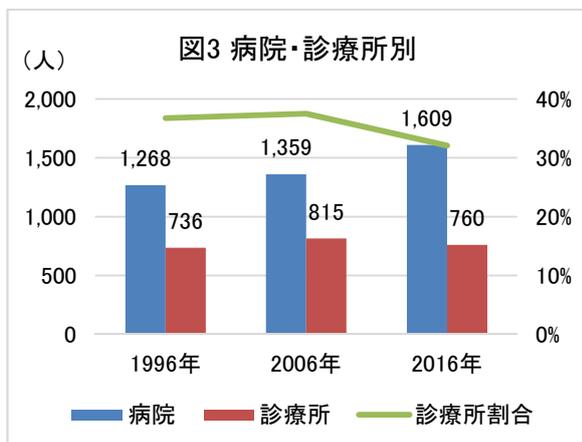
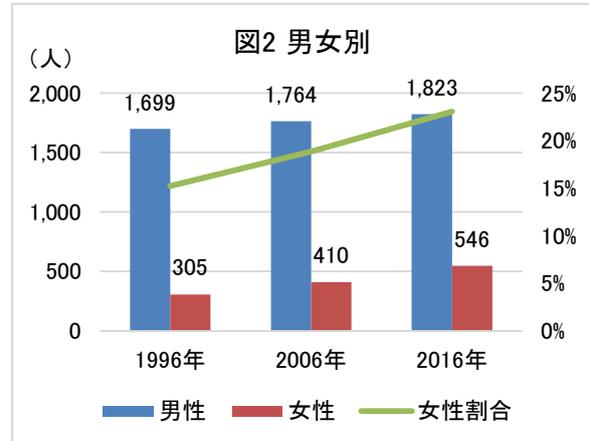
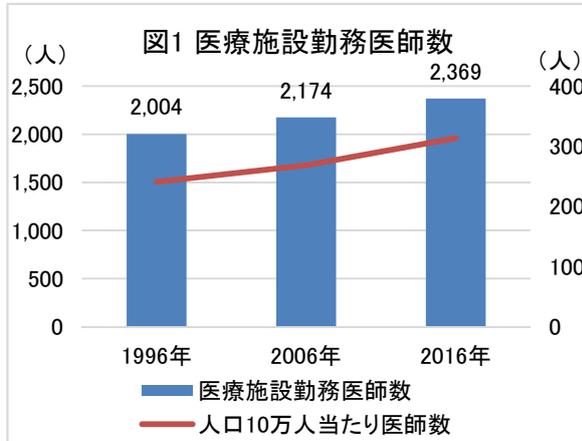
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて124人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に241人(79%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は23%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて341人(27%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に24人 (3%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は139人(-16%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて191人(60%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 徳島県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	832,427	809,950	755,733	-76,694	-9%	-22,477	-3%	-54,217	-7%	
総医師数	2,132	2,350	2,500	368	17%	218	10%	150	6%	
人口10万対	256.1	290.1	330.8	74.7	29%	34.0	13%	40.7	14%	
医療施設勤務医師数	2,004	2,174	2,369	365	18%	170	8%	195	9%	
人口10万対	240.7	268.4	313.5	72.7	30%	27.7	11%	45.1	17%	
男性医師数	1,699	1,764	1,823	124	7%	65	4%	59	3%	
人口10万対	204.1	217.8	241.2	37.1	18%	13.7	7%	23.4	11%	
女性医師数	305	410	546	241	79%	105	34%	136	33%	
人口10万対	36.6	50.6	72.2	35.6	97%	14.0	38%	21.6	43%	
病院勤務医師数	1,268	1,359	1,609	341	27%	91	7%	250	18%	
人口10万対	152.3	167.8	212.9	60.6	40%	15.5	10%	45.1	27%	
診療所勤務医師数	736	815	760	24	3%	79	11%	-55	-7%	
人口10万対	88.4	100.6	100.6	12.1	14%	12.2	14%	-0.1	0%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.4	50.0	52.0	4.6	10%	2.6	5%	2.0	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	444	401	379	-65	-15%	-43	-10%	-22	-5%
	35-49歳	868	716	729	-139	-16%	-152	-18%	13	2%
	50-64歳	372	725	750	378	102%	353	95%	25	3%
	65歳以上	320	332	511	191	60%	12	4%	179	54%
	75歳以上(再掲)	90	168	154	64	71%	78	87%	-14	-8%
男性	24-34歳	325	239	249	-76	-23%	-86	-26%	10	4%
	35-49歳	751	580	485	-266	-35%	-171	-23%	-95	-16%
	50-64歳	338	636	624	286	85%	298	88%	-12	-2%
	65歳以上	285	309	465	180	63%	24	8%	156	50%
	75歳以上(再掲)	77	154	146	69	90%	77	100%	-8	-5%
女性	24-34歳	119	162	130	11	9%	43	36%	-32	-20%
	35-49歳	117	136	244	127	109%	19	16%	108	79%
	50-64歳	34	89	126	92	271%	55	162%	37	42%
	65歳以上	35	23	46	11	31%	-12	-34%	23	100%
	75歳以上(再掲)	13	14	8	-5	-38%	1	8%	-6	-43%
病院	24-34歳	418	389	368	-50	-12%	-29	-7%	-21	-5%
	35-49歳	585	513	594	9	2%	-72	-12%	81	16%
	50-64歳	178	357	439	261	147%	179	101%	82	23%
	65歳以上	87	100	208	121	139%	13	15%	108	108%
	75歳以上(再掲)	27	46	49	22	81%	19	70%	3	7%
診療所	24-34歳	26	12	11	-15	-58%	-14	-54%	-1	-8%
	35-49歳	283	203	135	-148	-52%	-80	-28%	-68	-33%
	50-64歳	194	368	311	117	60%	174	90%	-57	-15%
	65歳以上	233	232	303	70	30%	-1	0%	71	31%
	75歳以上(再掲)	63	122	105	42	67%	59	94%	-17	-14%
	85歳以上(再掲)	11	21	29	18	164%	10	91%	8	38%

## 徳島県

## ＜医師数の推移＞

徳島県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、形成外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	2,004	240.7	57	2,174	268.4	58	2,369	313.5	58	365	18%	72.7	30%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	879	105.6	59	918	113.3	62	972	128.6	62	93	11%	23.0	22%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	101	12.1	53	98	12.1	51	114	15.1	53	13	13%	3.0	24%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	91	10.9	57	108	13.3	58	131	17.3	59	40	44%	6.4	59%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	232	27.9	58	220	27.2	63	215	28.4	63	-17	-7%	0.6	2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	0.5	51	0	0.0	41	3	0.4	46	-1	-25%	-0.1	-17%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	20	2.4	55	14	1.7	48	17	2.2	49	-3	-15%	-0.2	-6%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	45	5.4	54	51	6.3	56	63	8.3	60	18	40%	2.9	54%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	142	17.1	58	149	18.4	58	162	21.4	59	20	14%	4.4	26%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	12	1.4	53	19	2.3	56	24	3.2	57	12	100%	1.7	120%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	55	6.6	53	55	6.8	52	65	8.6	54	10	18%	2.0	30%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	86	10.3	53	96	11.9	55	90	11.9	54	4	5%	1.6	15%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	67	8.0	53	73	9.0	56	68	9.0	55	1	1%	0.9	12%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	48	5.8	57	56	6.9	59	60	7.9	59	12	25%	2.2	38%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	103	12.4	56	98	12.1	57	86	11.4	52	-17	-17%	-1.0	-8%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	6	0.7	50	12	1.5	50	17	2.2	52	11	183%	1.5	212%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	39	4.7	54	49	6.0	57	64	8.5	59	25	64%	3.8	81%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	36	4.3	51	37	4.6	49	60	7.9	52	24	67%	3.6	84%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				11	1.4	50	18	2.4	49	7	64%	1.0	75%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				80	9.9	48	102	13.5	50	102	28%	3.6	37%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	38	4.6	50	30	3.7	47	38	5.0	46	0	0%	0.5	10%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 徳島県

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は145,141人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は234人(10%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は426人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

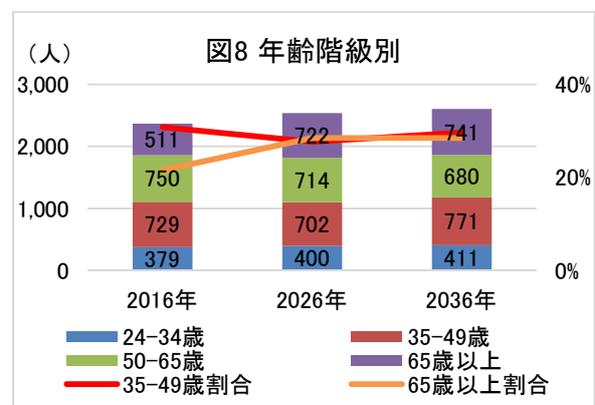
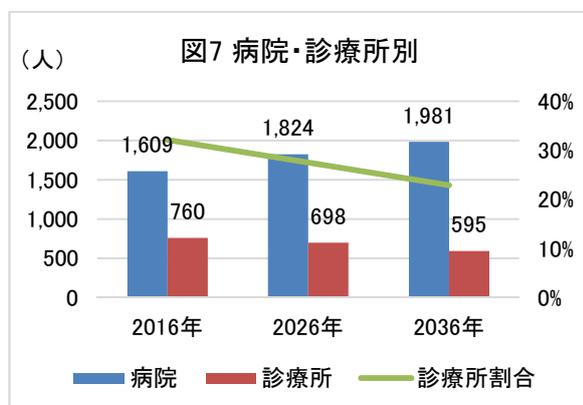
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて53人(-3%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に346人(63%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は34%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて372人(23%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に165人(-22%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は42人(6%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて230人(45%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



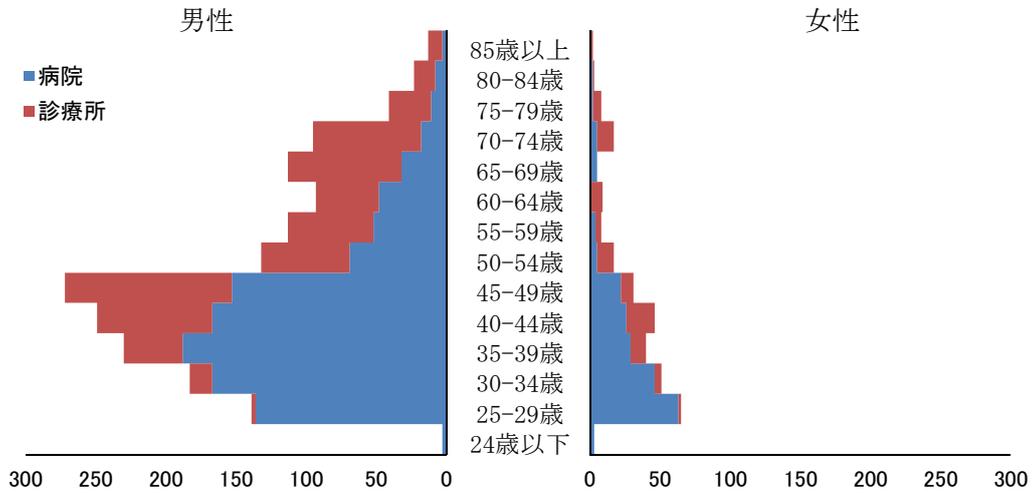
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 徳島県

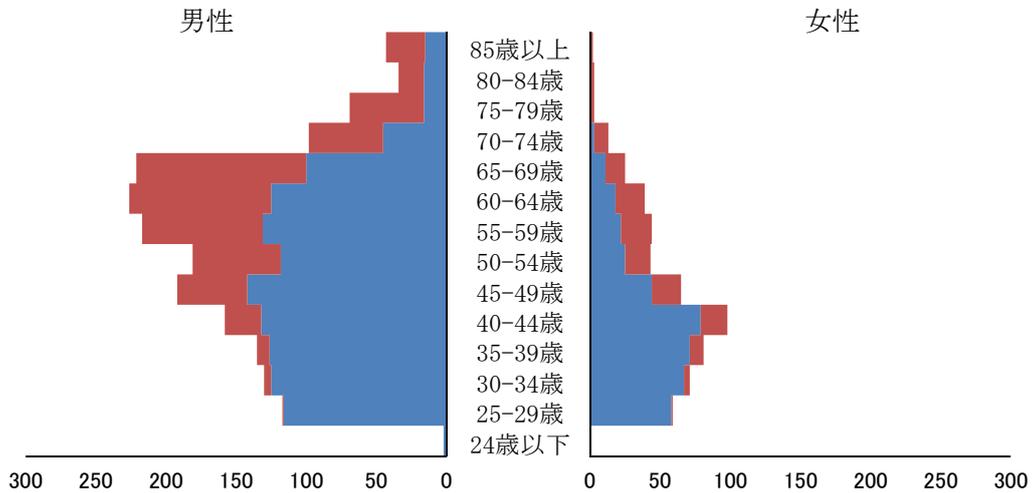
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

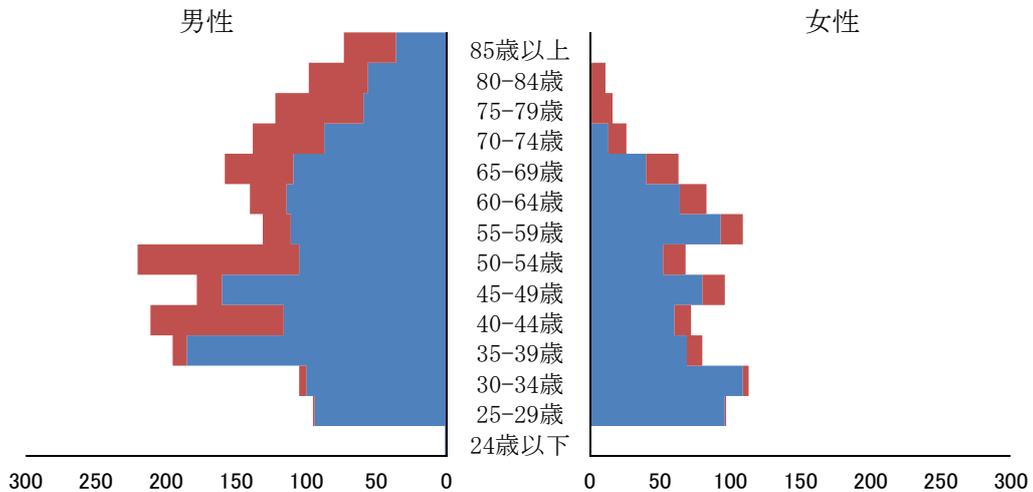
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 徳島県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	755,733	686,332	610,592	-145,141	-19%	-69,401	-9%	-75,740	-11%	
医療施設勤務医師数	2,369	2,538	2,603	234	10%	169	7%	65	3%	
人口10万対	313.5	369.8	426.3	112.8	36%	56.3	18%	56.5	15%	
男性医師数	1,823	1,872	1,770	-53	-3%	49	3%	-102	-5%	
人口10万対	241.2	272.8	289.9	48.7	20%	31.5	13%	17.1	6%	
女性医師数	546	697	892	346	63%	151	28%	195	28%	
人口10万対	72.2	101.6	146.1	73.8	102%	29.3	41%	44.5	44%	
病院勤務医師数	1,609	1,824	1,981	372	23%	215	13%	157	9%	
人口10万対	212.9	265.8	324.4	111.5	52%	52.9	25%	58.7	22%	
診療所勤務医師数	760	698	595	-165	-22%	-62	-8%	-103	-15%	
人口10万対	100.6	101.7	97.4	-3.1	-3%	1.1	1%	-4.3	-4%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	379	400	411	32	8%	21	6%	11	3%
	35-49歳	729	702	771	42	6%	-27	-4%	69	10%
	50-64歳	750	714	680	-70	-9%	-36	-5%	-34	-5%
	65歳以上	511	722	741	230	45%	211	41%	19	3%
	75歳以上(再掲)	154	282	354	200	130%	128	83%	72	26%
男性	24-34歳	249	263	201	-48	-19%	14	6%	-62	-24%
	35-49歳	485	468	538	53	11%	-17	-4%	70	15%
	50-64歳	624	511	427	-197	-32%	-113	-18%	-84	-16%
	65歳以上	465	630	604	139	30%	165	35%	-26	-4%
	75歳以上(再掲)	146	256	304	158	108%	110	75%	48	19%
女性	24-34歳	130	136	212	82	63%	6	5%	76	56%
	35-49歳	244	253	249	5	2%	9	4%	-4	-2%
	50-64歳	126	212	285	159	126%	86	68%	73	34%
	65歳以上	46	96	146	100	217%	50	109%	50	52%
	75歳以上(再掲)	8	34	52	44	550%	26	325%	18	53%
病院	24-34歳	368	389	398	30	8%	21	6%	9	2%
	35-49歳	594	593	649	55	9%	-1	0%	56	9%
	50-64歳	439	497	512	73	17%	58	13%	15	3%
	65歳以上	208	345	422	214	103%	137	66%	77	22%
	75歳以上(再掲)	49	113	174	125	255%	64	131%	61	54%
診療所	24-34歳	11	11	11	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	135	115	117	-18	-13%	-20	-15%	2	2%
	50-64歳	311	203	166	-145	-47%	-108	-35%	-37	-18%
	65歳以上	303	369	301	-2	-1%	66	22%	-68	-18%
	75歳以上(再掲)	105	164	169	64	61%	59	56%	5	3%
	85歳以上(再掲)	29	25	39	10	34%	-4	-14%	14	56%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 東部医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は22,993人(-4%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は362人(25%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は348人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

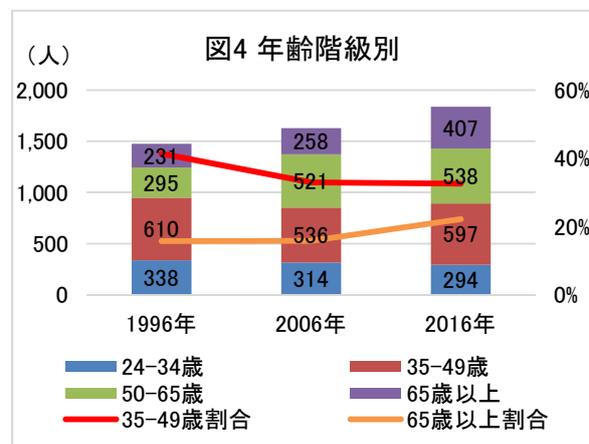
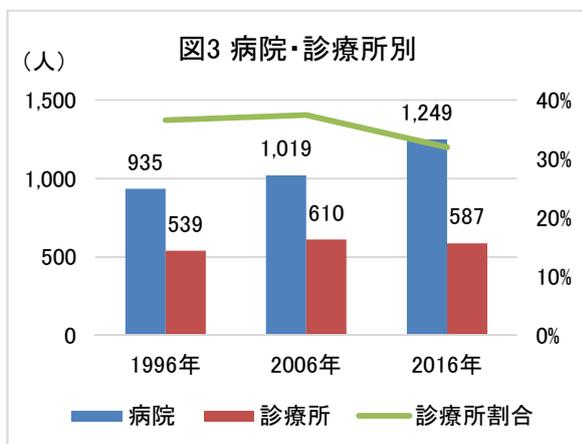
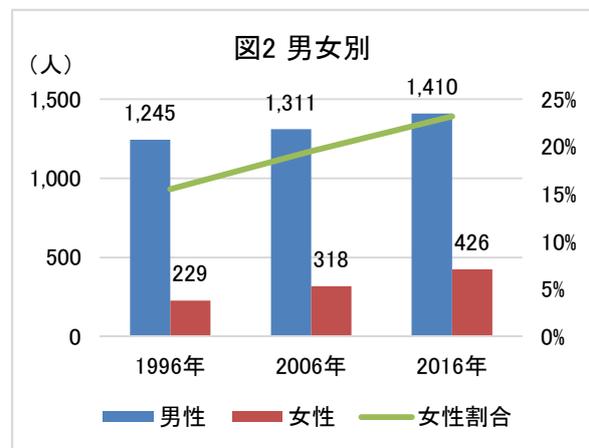
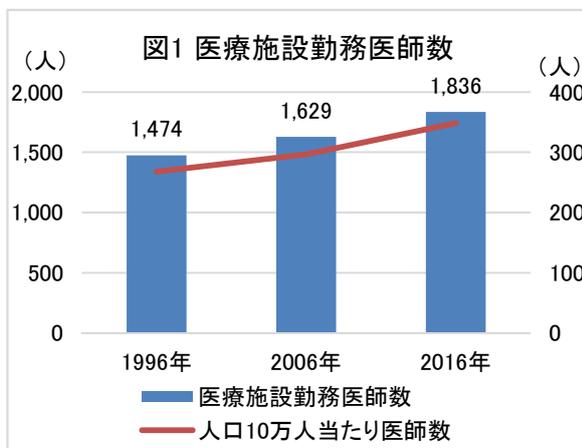
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて165人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に197人(86%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は23%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて314人(34%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に48人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は13人(-2%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて176人(76%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 東部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	550,168	549,240	527,175	-22,993	-4%	-928	0%	-22,065	-4%	
総医師数	1,585	1,774	1,942	357	23%	189	12%	168	9%	
人口10万対	288.1	323.0	368.4	80.3	28%	34.9	12%	45.4	14%	
医療施設勤務医師数	1,474	1,629	1,836	362	25%	155	11%	207	13%	
人口10万対	267.9	296.6	348.3	80.4	30%	28.7	11%	51.7	17%	
男性医師数	1,245	1,311	1,410	165	13%	66	5%	99	8%	
人口10万対	226.3	238.7	267.5	41.2	18%	12.4	5%	28.8	12%	
女性医師数	229	318	426	197	86%	89	39%	108	34%	
人口10万対	41.6	57.9	80.8	39.2	94%	16.3	39%	22.9	40%	
病院勤務医師数	935	1,019	1,249	314	34%	84	9%	230	23%	
人口10万対	169.9	185.5	236.9	67.0	39%	15.6	9%	51.4	28%	
診療所勤務医師数	539	610	587	48	9%	71	13%	-23	-4%	
人口10万対	98.0	111.1	111.3	13.4	14%	13.1	13%	0.3	0%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.3	49.8	51.8	4.5	10%	2.5	5%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	338	314	294	-44	-13%	-24	-7%	-20	-6%
	35-49歳	610	536	597	-13	-2%	-74	-12%	61	11%
	50-64歳	295	521	538	243	82%	226	77%	17	3%
	65歳以上	231	258	407	176	76%	27	12%	149	58%
	75歳以上(再掲)	59	127	131	72	122%	68	115%	4	3%
男性	24-34歳	244	190	200	-44	-18%	-54	-22%	10	5%
	35-49歳	532	424	399	-133	-25%	-108	-20%	-25	-6%
	50-64歳	264	453	444	180	68%	189	72%	-9	-2%
	65歳以上	205	244	367	162	79%	39	19%	123	50%
	75歳以上(再掲)	51	119	125	74	145%	68	133%	6	5%
女性	24-34歳	94	124	94	0	0%	30	32%	-30	-24%
	35-49歳	78	112	198	120	154%	34	44%	86	77%
	50-64歳	31	68	94	63	203%	37	119%	26	38%
	65歳以上	26	14	40	14	54%	-12	-46%	26	186%
	75歳以上(再掲)	8	8	6	-2	-25%	0	0%	-2	-25%
病院	24-34歳	324	309	288	-36	-11%	-15	-5%	-21	-7%
	35-49歳	410	383	485	75	18%	-27	-7%	102	27%
	50-64歳	136	244	312	176	129%	108	79%	68	28%
	65歳以上	65	83	164	99	152%	18	28%	81	98%
	75歳以上(再掲)	19	39	46	27	142%	20	105%	7	18%
診療所	24-34歳	14	5	6	-8	-57%	-9	-64%	1	20%
	35-49歳	200	153	112	-88	-44%	-47	-24%	-41	-27%
	50-64歳	159	277	226	67	42%	118	74%	-51	-18%
	65歳以上	166	175	243	77	46%	9	5%	68	39%
	75歳以上(再掲)	40	88	85	45	113%	48	120%	-3	-3%
	85歳以上(再掲)	10	11	21	11	110%	1	10%	10	91%

## 東部医療圏

### <医師数の推移>

東部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、心臓血管外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,474	267.9	60	1,629	296.6	61	1,836	348.3	62	362	25%	80.4	30%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	623	113.2	61	667	121.4	65	734	139.2	66	111	18%	26.0	23%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	72	13.1	55	72	13.1	54	86	16.3	55	14	19%	3.2	25%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	69	12.5	61	91	16.6	65	111	21.1	66	42	61%	8.5	68%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	173	31.4	62	158	28.8	65	160	30.4	66	-13	-8%	-1.1	-3%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	0.4	49	0	0.0	41	3	0.6	49	1	50%	0.2	57%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	15	2.7	58	9	1.6	48	12	2.3	49	-3	-20%	-0.5	-17%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	33	6.0	56	42	7.6	62	52	9.9	66	19	58%	3.9	64%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	105	19.1	62	105	19.1	59	125	23.7	63	20	19%	4.6	24%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	11	2.0	58	17	3.1	62	20	3.8	61	9	82%	1.8	90%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	46	8.4	58	44	8.0	56	56	10.6	60	10	22%	2.3	27%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	64	11.6	56	70	12.7	57	71	13.5	58	7	11%	1.8	16%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	54	9.8	58	58	10.6	61	57	10.8	61	3	6%	1.0	10%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	38	6.9	62	43	7.8	63	49	9.3	65	11	29%	2.4	35%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	75	13.6	59	78	14.2	63	70	13.3	56	-5	-7%	-0.4	-3%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	4	0.7	50	8	1.5	50	15	2.8	56	11	275%	2.1	291%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	32	5.8	58	41	7.5	62	52	9.9	63	20	63%	4.0	70%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	30	5.5	54	31	5.6	52	47	8.9	54	17	57%	3.5	63%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				10	1.8	54	13	2.5	50	3	30%	0.6	35%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				59	10.7	49	78	14.8	52	78	32%	4.1	38%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	28	5.1	51	26	4.7	49	25	4.7	45	-3	-11%	-0.3	-7%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 東部医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は85,215人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は303人(17%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は484人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は39%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

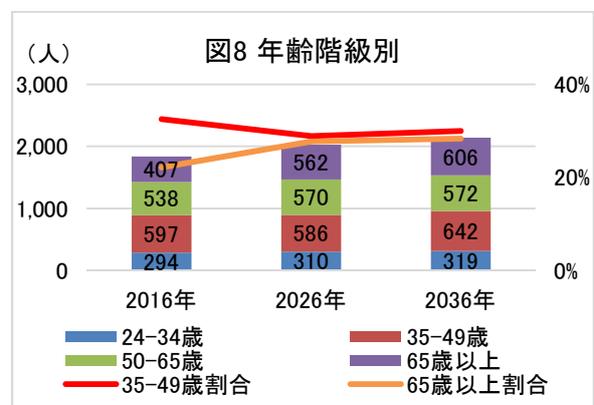
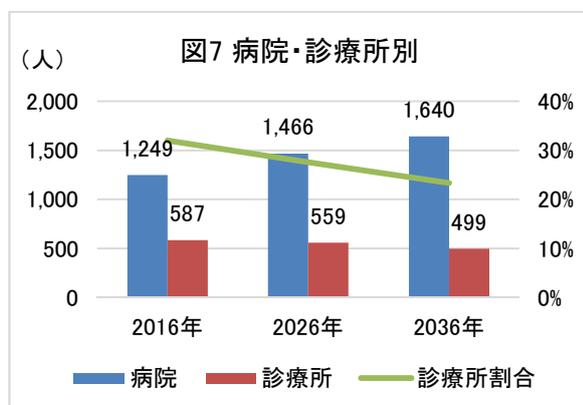
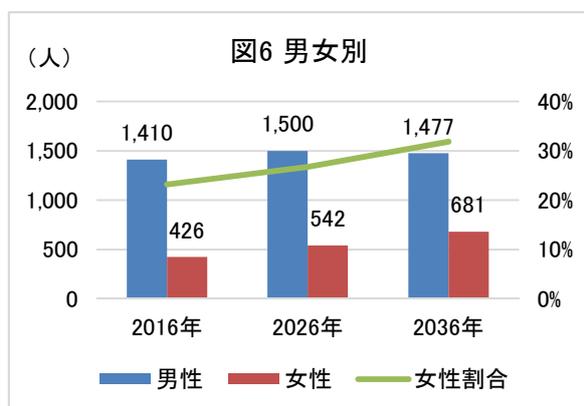
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて67人(5%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に255人(60%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は32%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて391人(31%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に88人(-15%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は45人(8%)増え、全国平均(8%)と同程度の減少率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて199人(49%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



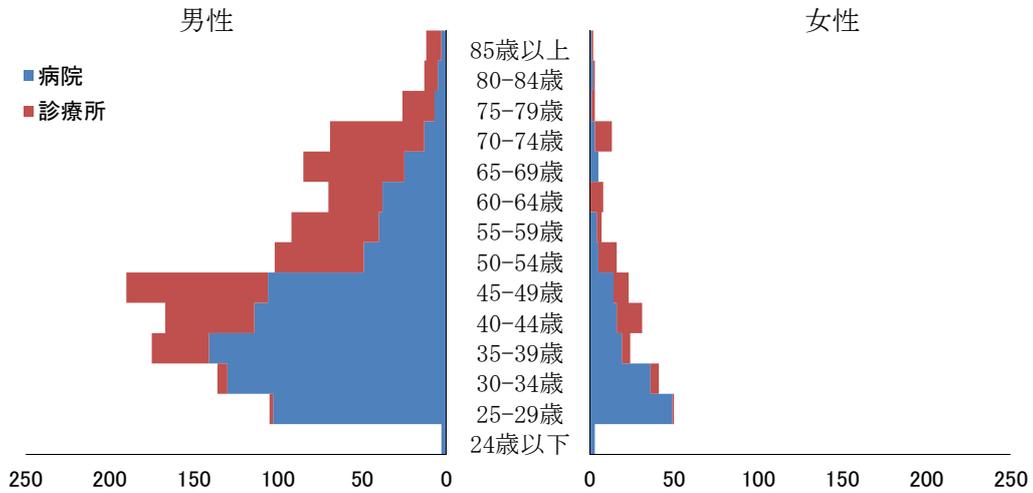
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 東部医療圏

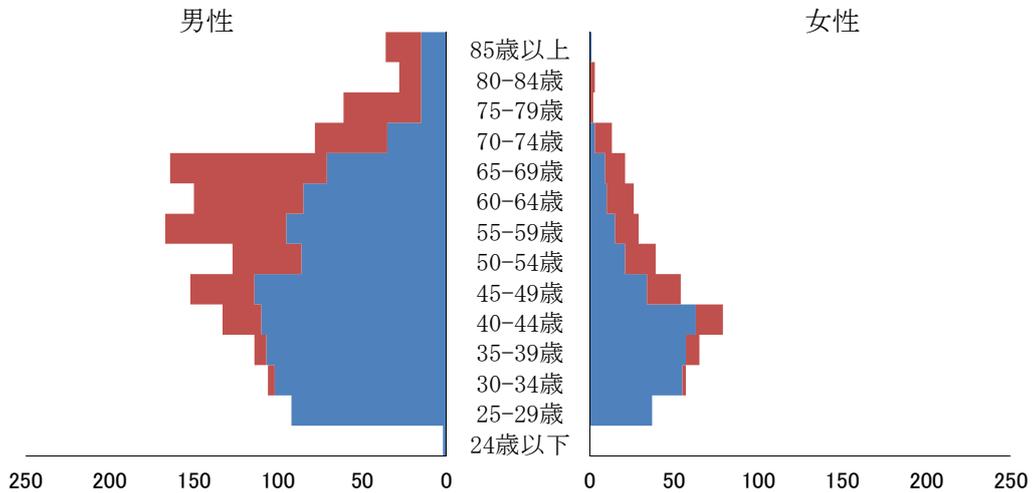
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

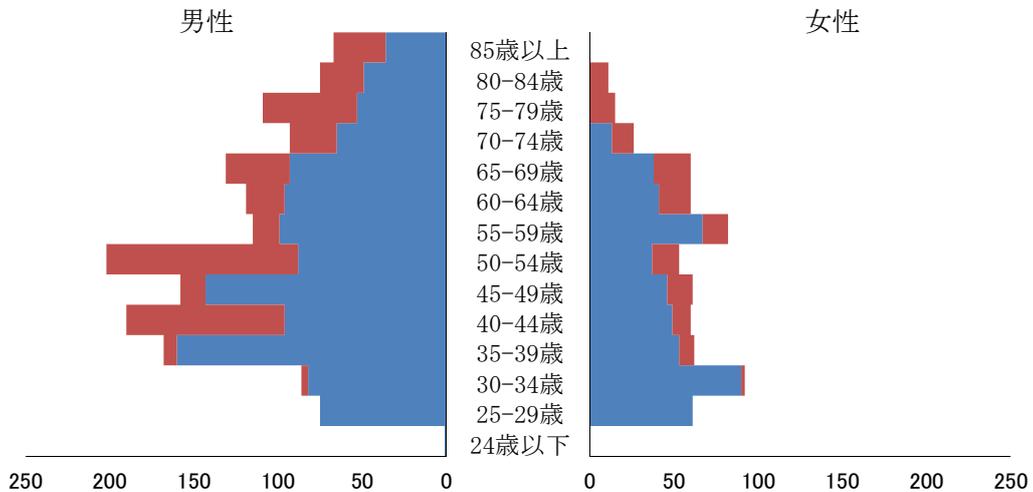
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 東部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	527,175	488,496	441,960	-85,215	-16%	-38,679	-7%	-46,536	-10%	
医療施設勤務医師数	1,836	2,028	2,139	303	17%	192	10%	111	5%	
人口10万対	348.3	415.2	484.0	135.7	39%	66.9	19%	68.8	17%	
男性医師数	1,410	1,500	1,477	67	5%	90	6%	-23	-2%	
人口10万対	267.5	307.1	334.2	66.7	25%	39.6	15%	27.1	9%	
女性医師数	426	542	681	255	60%	116	27%	139	26%	
人口10万対	80.8	111.0	154.1	73.3	91%	30.1	37%	43.1	39%	
病院勤務医師数	1,249	1,466	1,640	391	31%	217	17%	174	12%	
人口10万対	236.9	300.1	371.1	134.2	57%	63.2	27%	71.0	24%	
診療所勤務医師数	587	559	499	-88	-15%	-28	-5%	-60	-11%	
人口10万対	111.3	114.4	112.9	1.6	1%	3.1	3%	-1.5	-1%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	294	310	319	25	9%	16	5%	9	3%
	35-49歳	597	586	642	45	8%	-11	-2%	56	10%
	50-64歳	538	570	572	34	6%	32	6%	2	0%
	65歳以上	407	562	606	199	49%	155	38%	44	8%
	75歳以上(再掲)	131	240	298	167	127%	109	83%	58	24%
男性	24-34歳	200	211	162	-38	-19%	11	5%	-49	-23%
	35-49歳	399	402	466	67	17%	3	1%	64	16%
	50-64歳	444	400	367	-77	-17%	-44	-10%	-33	-8%
	65歳以上	367	487	482	115	31%	120	33%	-5	-1%
	75歳以上(再掲)	125	215	255	130	104%	90	72%	40	19%
女性	24-34歳	94	98	154	60	64%	4	4%	56	57%
	35-49歳	198	189	184	-14	-7%	-9	-5%	-5	-3%
	50-64歳	94	171	206	112	119%	77	82%	35	20%
	65歳以上	40	84	137	97	243%	44	110%	53	63%
	75歳以上(再掲)	6	32	50	44	733%	26	433%	18	56%
病院	24-34歳	288	304	312	24	8%	16	6%	8	3%
	35-49歳	485	492	540	55	11%	7	1%	48	10%
	50-64歳	312	400	427	115	37%	88	28%	27	7%
	65歳以上	164	270	361	197	120%	106	65%	91	34%
	75歳以上(再掲)	46	98	157	111	241%	52	113%	59	60%
診療所	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	112	104	106	-6	-5%	-8	-7%	2	2%
	50-64歳	226	161	151	-75	-33%	-65	-29%	-10	-6%
	65歳以上	243	288	236	-7	-3%	45	19%	-52	-18%
	75歳以上(再掲)	85	139	137	52	61%	54	64%	-2	-1%
	85歳以上(再掲)	21	20	33	12	57%	-1	-5%	13	65%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 南部医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は25,707人(-15%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は37人(11%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は253人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

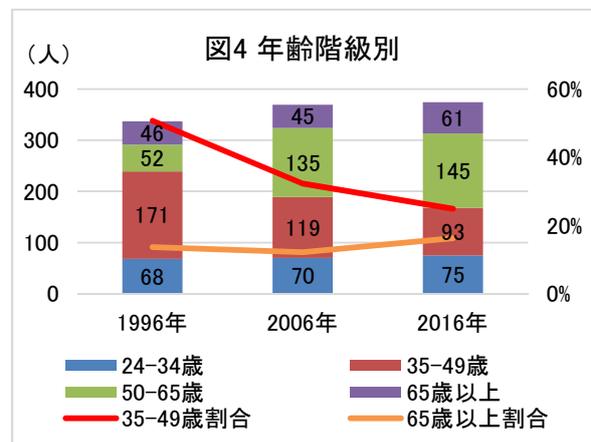
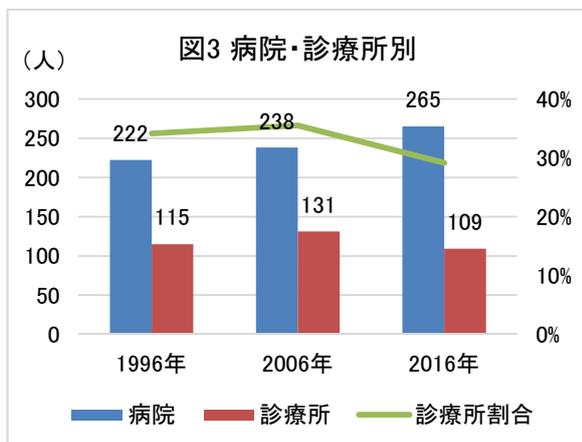
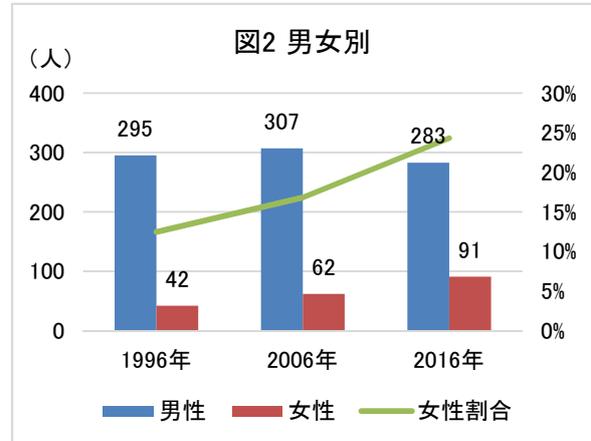
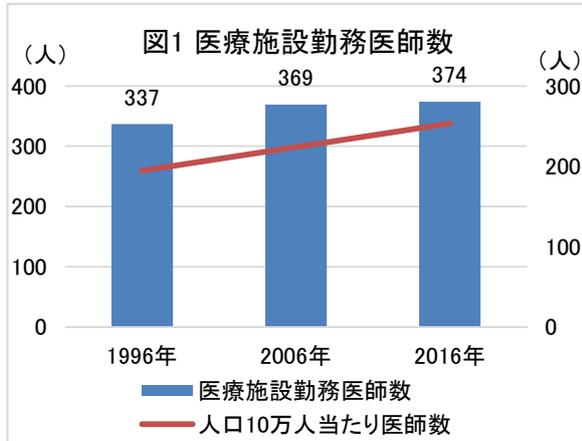
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて12人(-4%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に49人(117%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は24%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて43人(19%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に6人(-5%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は29%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は78人(-46%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて15人(33%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年16%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 南部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	173,363	164,694	147,656	-25,707	-15%	-8,669	-5%	-17,038	-10%	
総医師数	350	388	388	38	11%	38	11%	0	0%	
人口10万対	201.9	235.6	262.8	60.9	30%	33.7	17%	27.2	12%	
医療施設勤務医師数	337	369	374	37	11%	32	9%	5	1%	
人口10万対	194.4	224.1	253.3	58.9	30%	29.7	15%	29.2	13%	
男性医師数	295	307	283	-12	-4%	12	4%	-24	-8%	
人口10万対	170.2	186.4	191.7	21.5	13%	16.2	10%	5.3	3%	
女性医師数	42	62	91	49	117%	20	48%	29	47%	
人口10万対	24.2	37.6	61.6	37.4	154%	13.4	55%	24.0	64%	
病院勤務医師数	222	238	265	43	19%	16	7%	27	11%	
人口10万対	128.1	144.5	179.5	51.4	40%	16.5	13%	35.0	24%	
診療所勤務医師数	115	131	109	-6	-5%	16	14%	-22	-17%	
人口10万対	66.3	79.5	73.8	7.5	11%	13.2	20%	-5.7	-7%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.7	49.4	51.0	4.3	9%	2.6	6%	1.7	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	68	70	75	7	10%	2	3%	5	7%
	35-49歳	171	119	93	-78	-46%	-52	-30%	-26	-22%
	50-64歳	52	135	145	93	179%	83	160%	10	7%
	65歳以上	46	45	61	15	33%	-1	-2%	16	36%
	75歳以上(再掲)	15	23	16	1	7%	8	53%	-7	-30%
男性	24-34歳	54	37	41	-13	-24%	-17	-31%	4	11%
	35-49歳	149	105	59	-90	-60%	-44	-30%	-46	-44%
	50-64歳	51	124	124	73	143%	73	143%	0	0%
	65歳以上	41	41	59	18	44%	0	0%	18	44%
	75歳以上(再掲)	11	20	15	4	36%	9	82%	-5	-25%
女性	24-34歳	14	33	34	20	143%	19	136%	1	3%
	35-49歳	22	14	34	12	55%	-8	-36%	20	143%
	50-64歳	1	11	21	20	2000%	10	1000%	10	91%
	65歳以上	5	4	2	-3	-60%	-1	-20%	-2	-50%
	75歳以上(再掲)	4	3	1	-3	-75%	-1	-25%	-2	-67%
病院	24-34歳	60	65	71	11	18%	5	8%	6	9%
	35-49歳	123	90	79	-44	-36%	-33	-27%	-11	-12%
	50-64歳	32	76	92	60	188%	44	138%	16	21%
	65歳以上	7	7	23	16	229%	0	0%	16	229%
	75歳以上(再掲)	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
診療所	24-34歳	8	5	4	-4	-50%	-3	-38%	-1	-20%
	35-49歳	48	29	14	-34	-71%	-19	-40%	-15	-52%
	50-64歳	20	59	53	33	165%	39	195%	-6	-10%
	65歳以上	39	38	38	-1	-3%	-1	-3%	0	0%
	75歳以上(再掲)	11	22	14	3	27%	11	100%	-8	-36%
	85歳以上(再掲)	0	5	5	5		5		0	0%

## 南部医療圏

## ＜医師数の推移＞

南部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、心臓血管外科であり、少ない診療科は、精神科、小児外科、皮膚科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	337	194.4	51	369	224.1	52	374	253.3	52	37	11%	58.9	30%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	155	89.4	54	161	97.8	57	155	105.0	55	0	0%	15.6	17%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	20	11.5	51	19	11.5	50	21	14.2	52	1	5%	2.7	23%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	8	4.6	41	6	3.6	37	8	5.4	37	0	0%	0.8	17%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	36	20.8	50	40	24.3	59	39	26.4	60	3	8%	5.6	27%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	2	1.2	61	0	0.0	41	0	0.0	41	-2	-100%	-1.2	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	5	2.9	59	5	3.0	56	5	3.4	55	0	0%	0.5	17%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	7	4.0	48	7	4.3	47	9	6.1	51	2	29%	2.1	51%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	27	15.6	55	31	18.8	58	28	19.0	54	1	4%	3.4	22%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.6	46	2	1.2	48	4	2.7	54	3	300%	2.1	370%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	4.0	46	9	5.5	48	7	4.7	43	0	0%	0.7	17%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	15	8.7	50	19	11.5	55	14	9.5	48	-1	-7%	0.8	10%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	11	6.3	48	12	7.3	51	9	6.1	46	-2	-18%	-0.2	-4%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	3.5	47	8	4.9	50	7	4.7	47	1	17%	1.3	37%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	17	9.8	50	12	7.3	45	9	6.1	41	-8	-47%	-3.7	-38%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.6	48	2	1.2	48	1	0.7	42	0	0%	0.1	17%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	3.5	50	6	3.6	49	10	6.8	54	4	67%	3.3	96%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	2.9	47	5	3.0	45	11	7.4	51	6	120%	4.6	158%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	4	2.7	51	4		2.7	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				21	12.8	52	24	16.3	53	24	14%	3.5	27%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	8	4.6	50	4	2.4	45	9	6.1	48	1	13%	1.5	32%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 南部医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は33,721人(-23%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は25人(-7%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は306人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

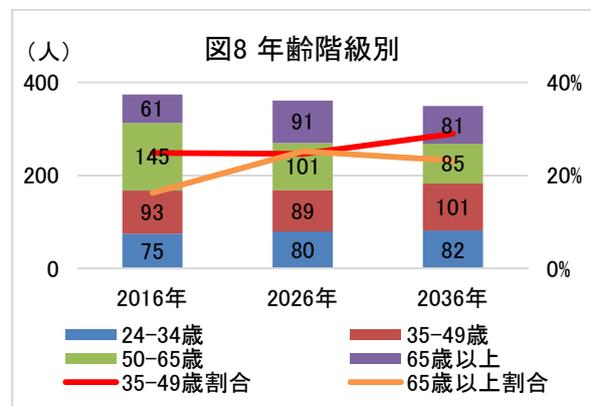
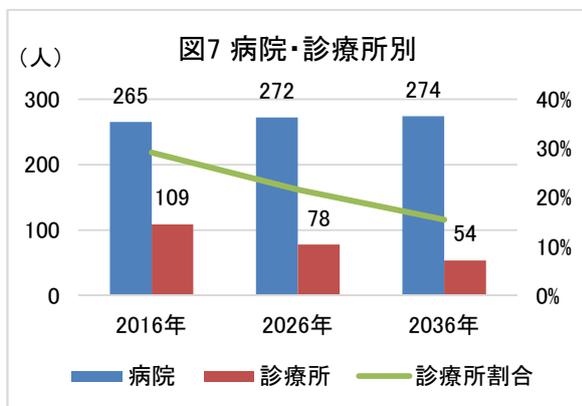
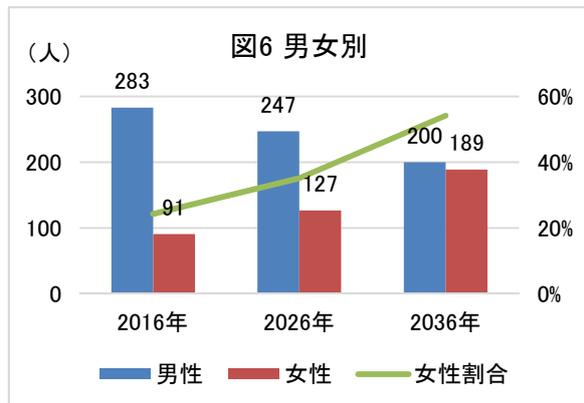
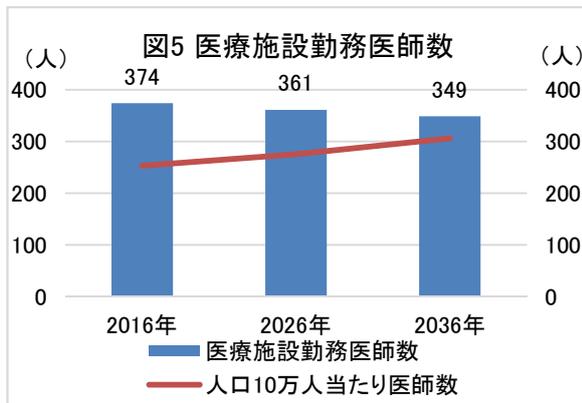
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて83人(-29%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に98人(108%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は54%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて9人(3%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に55人(-50%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は15%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は8人(9%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて20人(33%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



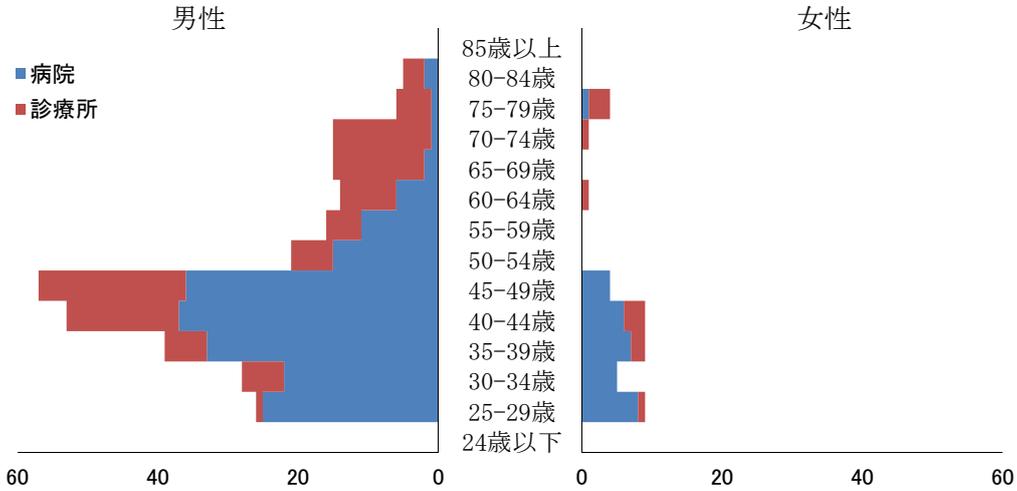
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南部医療圏

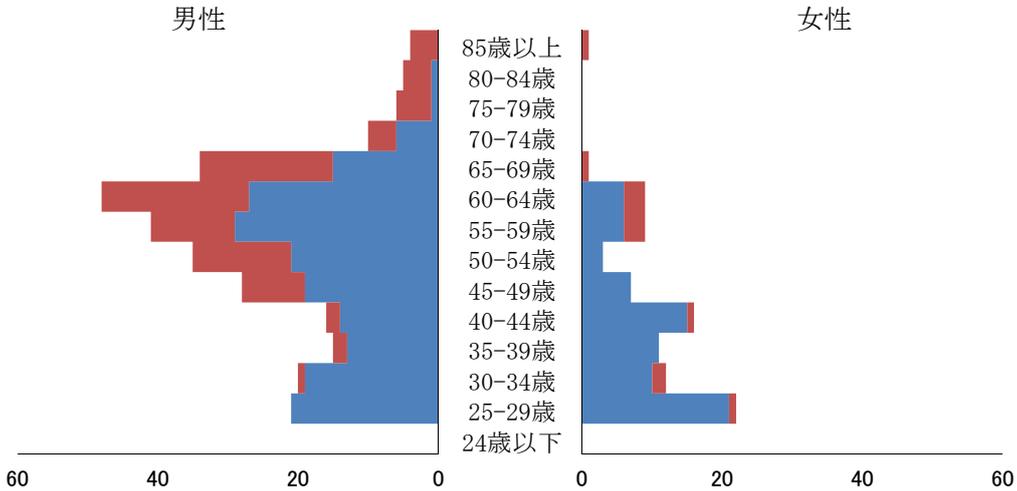
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

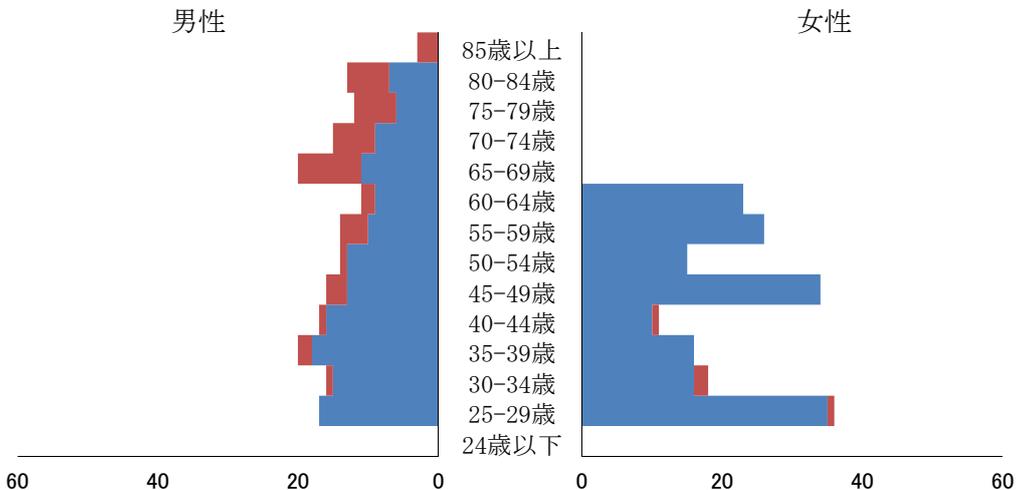
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 南部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	147,656	131,173	113,935	-33,721	-23%	-16,483	-11%	-17,238	-13%	
医療施設勤務医師数	374	361	349	-25	-7%	-13	-3%	-12	-3%	
人口10万対	253.3	275.2	306.3	53.0	21%	21.9	9%	31.1	11%	
男性医師数	283	247	200	-83	-29%	-36	-13%	-47	-19%	
人口10万対	191.7	188.3	175.5	-16.1	-8%	-3.4	-2%	-12.8	-7%	
女性医師数	91	127	189	98	108%	36	40%	62	49%	
人口10万対	61.6	96.8	165.9	104.3	169%	35.2	57%	69.1	71%	
病院勤務医師数	265	272	274	9	3%	7	3%	2	1%	
人口10万対	179.5	207.4	240.5	61.0	34%	27.9	16%	33.1	16%	
診療所勤務医師数	109	78	54	-55	-50%	-31	-28%	-24	-31%	
人口10万対	73.8	59.5	47.4	-26.4	-36%	-14.4	-19%	-12.1	-20%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	75	80	82	7	9%	5	7%	2	2%
	35-49歳	93	89	101	8	9%	-4	-4%	12	13%
	50-64歳	145	101	85	-60	-41%	-44	-30%	-16	-16%
	65歳以上	61	91	81	20	33%	30	49%	-10	-11%
	75歳以上(再掲)	16	26	39	23	144%	10	63%	13	50%
男性	24-34歳	41	44	33	-8	-20%	3	7%	-11	-25%
	35-49歳	59	49	53	-6	-10%	-10	-17%	4	8%
	50-64歳	124	74	44	-80	-65%	-50	-40%	-30	-41%
	65歳以上	59	80	70	11	19%	21	36%	-10	-13%
	75歳以上(再掲)	15	26	34	19	127%	11	73%	8	31%
女性	24-34歳	34	36	55	21	62%	2	6%	19	53%
	35-49歳	34	52	63	29	85%	18	53%	11	21%
	50-64歳	21	34	67	46	219%	13	62%	33	97%
	65歳以上	2	5	4	2	100%	3	150%	-1	-20%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	71	76	77	6	8%	5	7%	1	1%
	35-49歳	79	81	91	12	15%	2	3%	10	12%
	50-64歳	92	70	67	-25	-27%	-22	-24%	-3	-4%
	65歳以上	23	45	39	16	70%	22	96%	-6	-13%
	75歳以上(再掲)	2	7	13	11	550%	5	250%	6	86%
診療所	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	14	7	7	-7	-50%	-7	-50%	0	0%
	50-64歳	53	26	10	-43	-81%	-27	-51%	-16	-62%
	65歳以上	38	41	33	-5	-13%	3	8%	-8	-20%
	75歳以上(再掲)	14	16	18	4	29%	2	14%	2	13%
	85歳以上(再掲)	5	3	4	-1	-20%	-2	-40%	1	33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 西部医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は27,994人(-26%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は34人(-18%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は197人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は11%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

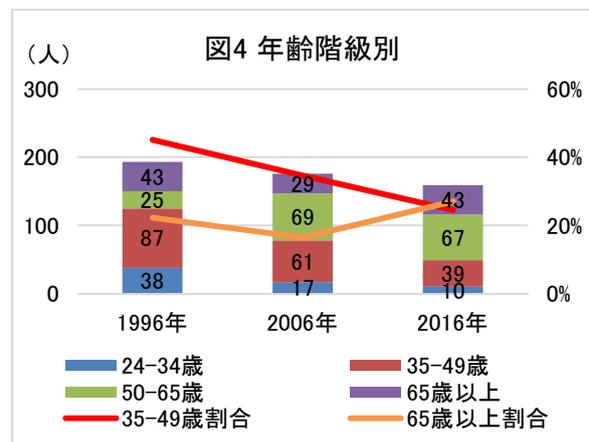
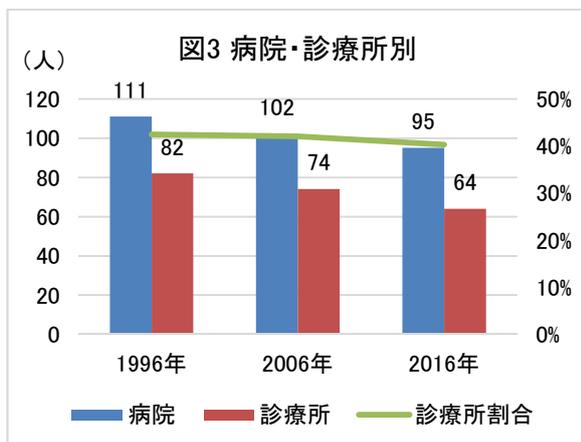
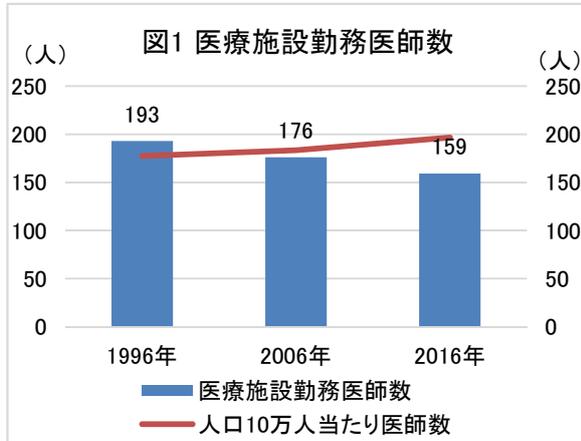
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて29人(-18%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(-15%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて16人(-14%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に18人(-22%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は40%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は48人(-55%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 西部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	108,896	96,016	80,902	-27,994	-26%	-12,880	-12%	-15,114	-16%	
総医師数	197	188	170	-27	-14%	-9	-5%	-18	-10%	
人口10万対	180.9	195.8	210.1	29.2	16%	14.9	8%	14.3	7%	
医療施設勤務医師数	193	176	159	-34	-18%	-17	-9%	-17	-10%	
人口10万対	177.2	183.3	196.5	19.3	11%	6.1	3%	13.2	7%	
男性医師数	159	146	130	-29	-18%	-13	-8%	-16	-11%	
人口10万対	146.0	152.1	160.7	14.7	10%	6.0	4%	8.6	6%	
女性医師数	34	30	29	-5	-15%	-4	-12%	-1	-3%	
人口10万対	31.2	31.2	35.8	4.6	15%	0.0	0%	4.6	15%	
病院勤務医師数	111	102	95	-16	-14%	-9	-8%	-7	-7%	
人口10万対	101.9	106.2	117.4	15.5	15%	4.3	4%	11.2	11%	
診療所勤務医師数	82	74	64	-18	-22%	-8	-10%	-10	-14%	
人口10万対	75.3	77.1	79.1	3.8	5%	1.8	2%	2.0	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.3	52.7	56.4	7.1	14%	3.4	7%	3.7	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	38	17	10	-28	-74%	-21	-55%	-7	-41%
	35-49歳	87	61	39	-48	-55%	-26	-30%	-22	-36%
	50-64歳	25	69	67	42	168%	44	176%	-2	-3%
	65歳以上	43	29	43	0	0%	-14	-33%	14	48%
	75歳以上(再掲)	16	18	7	-9	-56%	2	13%	-11	-61%
男性	24-34歳	27	12	8	-19	-70%	-15	-56%	-4	-33%
	35-49歳	70	51	27	-43	-61%	-19	-27%	-24	-47%
	50-64歳	23	59	56	33	143%	36	157%	-3	-5%
	65歳以上	39	24	39	0	0%	-15	-38%	15	63%
	75歳以上(再掲)	15	15	6	-9	-60%	0	0%	-9	-60%
女性	24-34歳	11	5	2	-9	-82%	-6	-55%	-3	-60%
	35-49歳	17	10	12	-5	-29%	-7	-41%	2	20%
	50-64歳	2	10	11	9	450%	8	400%	1	10%
	65歳以上	4	5	4	0	0%	1	25%	-1	-20%
	75歳以上(再掲)	1	3	1	0	0%	2	200%	-2	-67%
病院	24-34歳	34	15	9	-25	-74%	-19	-56%	-6	-40%
	35-49歳	52	40	30	-22	-42%	-12	-23%	-10	-25%
	50-64歳	10	37	35	25	250%	27	270%	-2	-5%
	65歳以上	15	10	21	6	40%	-5	-33%	11	110%
	75歳以上(再掲)	4	6	1	-3	-75%	2	50%	-5	-83%
診療所	24-34歳	4	2	1	-3	-75%	-2	-50%	-1	-50%
	35-49歳	35	21	9	-26	-74%	-14	-40%	-12	-57%
	50-64歳	15	32	32	17	113%	17	113%	0	0%
	65歳以上	28	19	22	-6	-21%	-9	-32%	3	16%
	75歳以上(再掲)	12	12	6	-6	-50%	0	0%	-6	-50%
	85歳以上(再掲)	1	5	3	2	200%	4	400%	-2	-40%

## 西部医療圏

## ＜医師数の推移＞

西部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	193	177.2	49	176	183.3	47	159	196.5	45	-34	-18%	19.3	11%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	101	92.7	55	90	93.7	55	83	102.6	54	-18	-18%	9.8	11%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	8.3	44	7	7.3	41	7	8.7	41	-2	-22%	0.4	5%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	14	12.9	62	11	11.5	54	12	14.8	55	-2	-14%	2.0	15%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	23	21.1	50	22	22.9	57	16	19.8	51	-7	-30%	-1.3	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	4.6	50	2	2.1	38	2	2.5	37	-3	-60%	-2.1	-46%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	9.2	42	13	13.5	47	9	11.1	39	-1	-10%	1.9	21%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	1.8	40	2	2.1	37	2	2.5	37	0	0%	0.6	35%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	7	6.4	45	7	7.3	44	5	6.2	40	-2	-29%	-0.2	-4%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	1.8	35	3	3.1	38	2	2.5	35	0	0%	0.6	35%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	3.7	48	5	5.2	52	4	4.9	48	0	0%	1.3	35%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	11	10.1	50	8	8.3	48	7	8.7	46	-4	-36%	-1.4	-14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.9	53	2	2.1	55	1	1.2	45	0	0%	0.3	35%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.9	42	2	2.1	44	2	2.5	43	1	100%	1.6	169%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	0.9	41	1	1.0	39	2	2.5	39	1	100%	1.6	169%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	1.0	48	1	1.2	44	0	0%	0.2	19%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0.0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.8	44	0	0.0	40	4	4.9	46	2	100%	3.1	169%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 西部医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は26,205人(-32%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は44人(-28%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は210人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は7%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

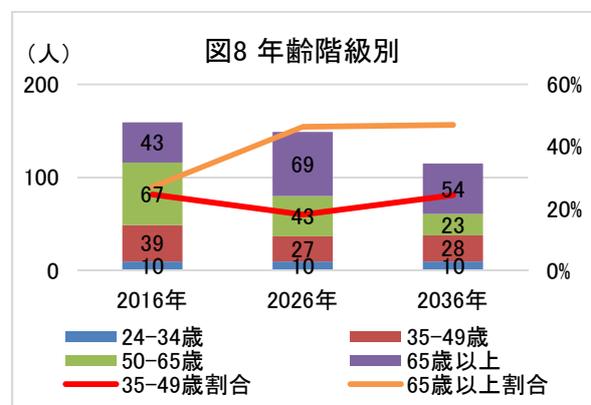
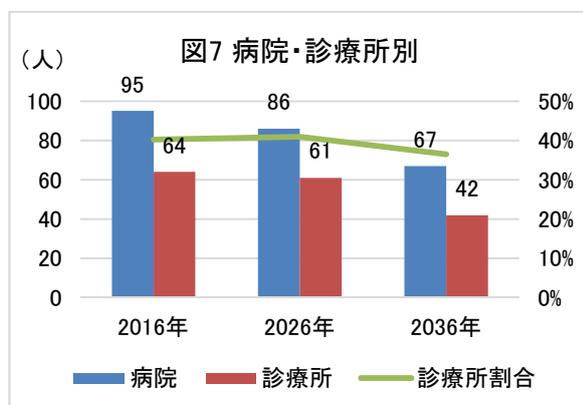
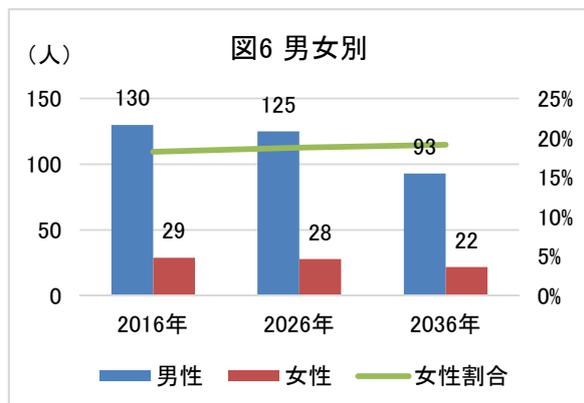
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて37人(-28%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に7人(-24%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は19%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて28人(-29%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(-34%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は37%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は11人(-28%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて11人(26%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年47%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



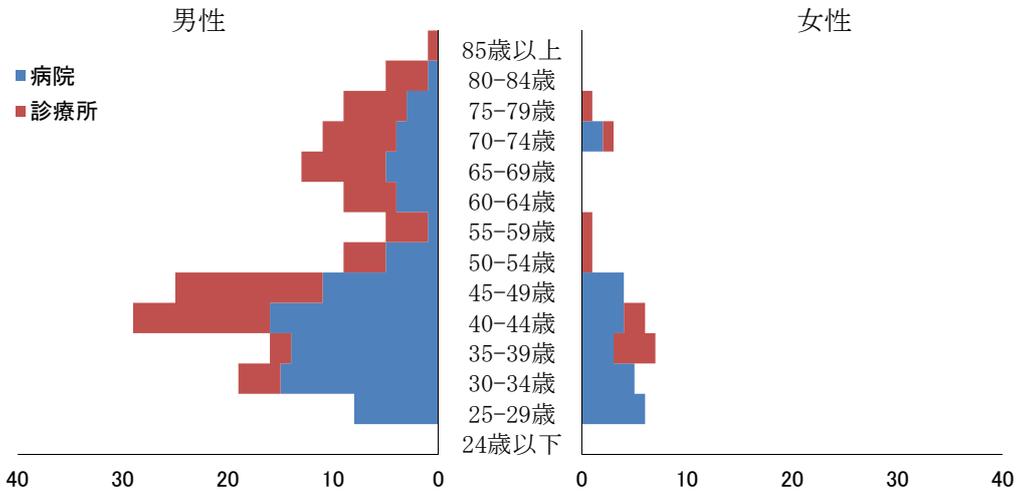
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

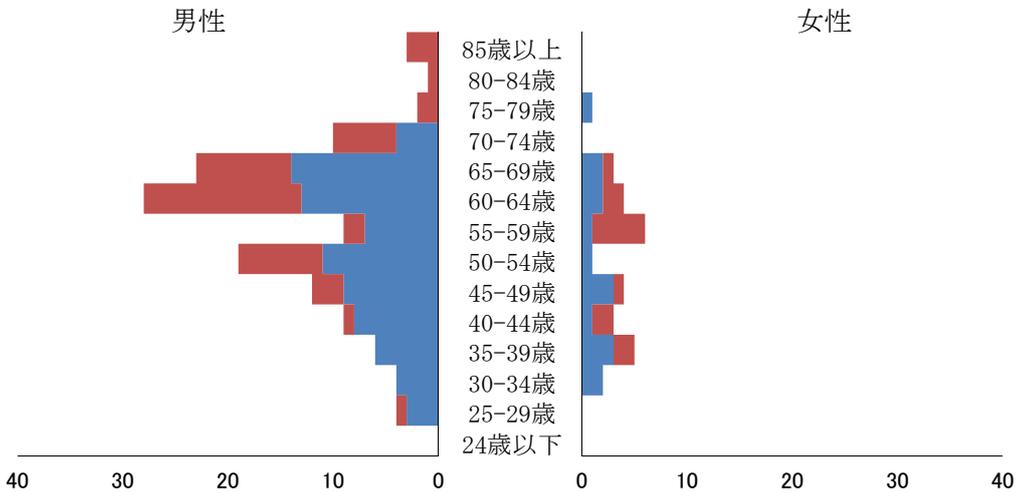
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

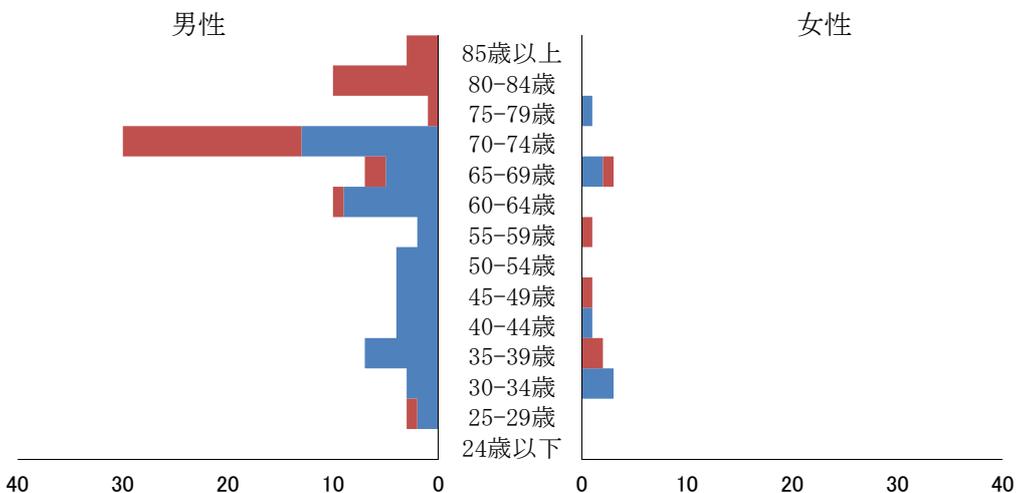
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 西部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	80,902	66,663	54,697	-26,205	-32%	-14,239	-18%	-11,966	-18%	
医療施設勤務医師数	159	149	115	-44	-28%	-10	-6%	-34	-23%	
人口10万対	196.5	223.5	210.2	13.7	7%	27.0	14%	-13.3	-6%	
男性医師数	130	125	93	-37	-28%	-5	-4%	-32	-26%	
人口10万対	160.7	187.5	170.0	9.3	6%	26.8	17%	-17.5	-9%	
女性医師数	29	28	22	-7	-24%	-1	-3%	-6	-21%	
人口10万対	35.8	42.0	40.2	4.4	12%	6.2	17%	-1.8	-4%	
病院勤務医師数	95	86	67	-28	-29%	-9	-9%	-19	-22%	
人口10万対	117.4	129.0	122.5	5.1	4%	11.6	10%	-6.5	-5%	
診療所勤務医師数	64	61	42	-22	-34%	-3	-5%	-19	-31%	
人口10万対	79.1	91.5	76.8	-2.3	-3%	12.4	16%	-14.7	-16%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	10	10	10	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	39	27	28	-11	-28%	-12	-31%	1	4%
	50-64歳	67	43	23	-44	-66%	-24	-36%	-20	-47%
	65歳以上	43	69	54	11	26%	26	60%	-15	-22%
	75歳以上(再掲)	7	16	17	10	143%	9	129%	1	6%
男性	24-34歳	8	8	6	-2	-25%	0	0%	-2	-25%
	35-49歳	27	17	19	-8	-30%	-10	-37%	2	12%
	50-64歳	56	37	16	-40	-71%	-19	-34%	-21	-57%
	65歳以上	39	63	52	13	33%	24	62%	-11	-17%
	75歳以上(再掲)	6	15	15	9	150%	9	150%	0	0%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	12	12	2	-10	-83%	0	0%	-10	-83%
	50-64歳	11	7	12	1	9%	-4	-36%	5	71%
	65歳以上	4	7	5	1	25%	3	75%	-2	-29%
	75歳以上(再掲)	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
病院	24-34歳	9	9	9	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	30	20	18	-12	-40%	-10	-33%	-2	-10%
	50-64歳	35	27	18	-17	-49%	-8	-23%	-9	-33%
	65歳以上	21	30	22	1	5%	9	43%	-8	-27%
	75歳以上(再掲)	1	8	4	3	300%	7	700%	-4	-50%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	9	4	4	-5	-56%	-5	-56%	0	0%
	50-64歳	32	16	5	-27	-84%	-16	-50%	-11	-69%
	65歳以上	22	40	32	10	45%	18	82%	-8	-20%
	75歳以上(再掲)	6	9	14	8	133%	3	50%	5	56%
	85歳以上(再掲)	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)